

# JIM-NET 便り

2022 7月号

発行：2022年7月30日



特定非営利活動法人 JIM-NET (ジムネット)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4丁目4番11号 内藤ビル2C  
電話 03-6228-0746 メール info-jim@jim-net.net



JIM-NET  
الشبكة الطبية اليابانية العراقية

## お絵描きオンラインワークショップを開催しました！

牧野アンドレ（海外事業担当）

今年2月と3月の2回に分け、JIM-NETハウスの院内学級にて、お絵描きオンラインワークショップを開催しました。講師は、筑波学院大学の野田美波子先生にお願いしました。日本とイラクをオンラインで繋ぎ、野田先生が子どもたちの作品を一つひとつ確認しながら丁寧にご指導くださいました。子どもたちはスクリーンに映されたお花や動物のモチーフをじっくり眺め、野田先生から教わった「線をしっかり描くこと」ということを意識し、集中した様子で各々の絵に取り組んでいました。いつもは描いたら終わりだったお絵描きの時間も、今回は一味違いました。思い思いの絵が完成し、野田先生に見せに行くと、「もっと色を足してみたらいいよ」「もっと輪郭をはっきり描いてみて」等のアドバイスを受け、最初は戸惑っていた子どもたちでしたが、再度挑戦。野田先生から「オーケー！ビューティフル！」という言葉をもらって、満面の笑顔で大喜び！

ワークショップ終了後に、院内学級の先生たちとスタッフとで絵を並べて眺めましたが、いつもより力強い絵に「たった少しの工夫でこんなにも絵の印象って変わるのか！」と驚いていました。

このワークショップを通して、子どもたちは絵を描く楽しさを実感してくれたと思います。野田先生、子どもたち

へのご指導をありがとうございました。

以下、お絵描きオンラインワークショップに参加したアナスとナワル、そして院内学級で英語を教えているハディージャ先生へのインタビューをお届けします。

### ワークショップに参加した先生・子どもたちの声

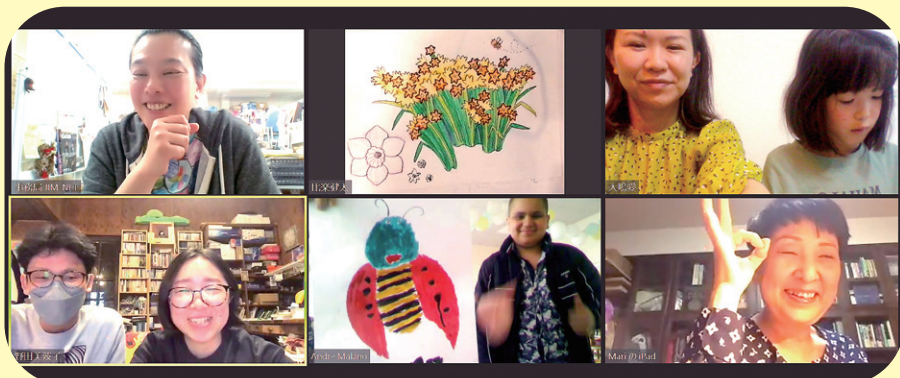
#### アナス (15歳)

僕はお花を見ることが好きなのと、乾燥したひまわりの種(注1)が大好き物なので、ひまわりを描くことにしました。いつもお絵描きの時間は別々に描いていることが多いけど、野田先生とのワークショップの時間は、みんなで一緒に描く

ことができ、それが楽しかったです。野田先生に教えてもらい、自分の絵が上手になったと感じました。アドバイスをもらった後に手を加え、見せた時に「ビューティフル！」

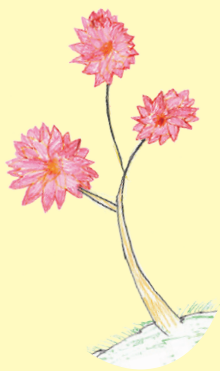
と野田先生が言ってくれたことが、とても嬉しかったです。もしまた機会があったら、ぜひ参加したいです。その時は僕が好きな風景なんかを描いてみたいです。

(注1) 中東では、ひまわりやかぼちゃの種を炒って、おやつとして食べられています。



Zoomでワークショップの様子





## ナフル (13歳)

私は蝶の美しさが大好きなので、ワークショップでは蝶を描くことにしました。みんなと一緒に何かに集中して取り組む今回のようなワークショップは、何か一つの作業をしている雰囲気を感じられました。先生に教わった「線をハッキリと描く」ということを意識したことで、絵がとても上達した気がしました。次のワークショップでは、お花をたくさん、そして上手に描けるようになりたいです。



## ハディージャ先生

私は、JIM-NETの院内学級で2021年11月から英語を教えています。最初は、闘病中の子どもたちもいることから慎重に教えていましたが、今は自信を持って子どもたちと向き合うことができています。これからも院内学級の子どもたちに「英語を学ぶことは楽しいことなんだよ」ということを、授業を通して伝えていきたいです。

今回のワークショップに参加をし、日本とイラクをオンラインで繋いで絵画教室を開くという新しい方法



に、とてもワクワクしました。野田先生の「モチーフを見つつ、そこから自分の想像力を使って描いてみて」という教え方も新鮮でした。院内学級の子どもたちはみんな絵を描くことが好きなので、このワークショップを楽しんでいました。

ただ、もう少し子どもたちには自分たちの想像力を膨らませて、オリジナリティのある作品を作ってもらいたかったとも思います。そのような次回への課題も含め、ぜひまたこういった会を開ければと思います。



## アフマドの近況



10歳になるアフマドは、アルビル市出身で8人の兄弟と3人の姉妹を持つ大家族のもとで暮らしています。2021年5月にバーキットリンパ腫という悪性度の高いリンパ腫の一種を患っていることが分かり、JIM-NETも支援をするナナカリ病院に通うことになりました。一度は投薬治療を通し、改善したかのように見えたアフマドの病状でしたが、その後悪化し、イラクの病院では、手に負えないほどになってしまいました。現在は、インドカトルコの病院で治療の継続ができるかを病院側が打診しています。

院内学級でも年長の生徒の一人としてムードメーカーで、さらに勉強も得意で、周りの友だちをいつもサポートしていました。先日、体調が良くなり、久しぶりに院内学級に参加した時も、みんなとの勉強の時間を楽しそうに満喫していました。院内学級の先生たちを見て、「僕も将来学校の先生になりたい!」と笑顔で話していました。治療を

終え、早く学校に戻ることを楽しみにしていましたが、現在は満足に食べることもできず、日々身体が弱っていくことを感じるのか、いつも険しい顔をしています。

アフマドの力を信じて、JIM-NETは彼や彼の家族に対して心理社会的な支援に加え、経済的な支援も継続していきます。



久々の院内学級で嬉しそう!



# チョコありがとう！

## ♡たくさんのありがとう♡

昨年11月、関西の支援者さまから1,000個のチョコ募金でイラクの子どもたちと福島の被災地の子どもたちにプレゼントして欲しいとの有難いお申し出を頂きました。チョコ缶を手にした子どもたちからたくさんの「ありがとう」メッセージが東京事務局に届きましたので、ご紹介いたします。

福島の被災地の子どもたちに合計2,520個のチョコ缶を届ける労を取って下さったNPO法人ほっと悠の村田純子理事長にも心から感謝申し上げます。



村田純子さん



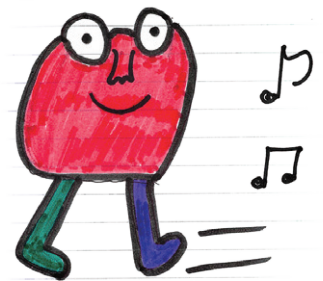
あしなが おじさんへ  
チョコレートありがとうごさいました。  
♡で、あまくて、おいしかったです。  
また、たべたいです。



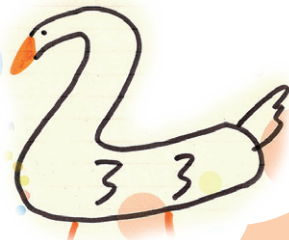
足長 おじさんへ  
こにちは  
今回思いもみずバレンタイン  
チョコレートをいただいたので、お返し  
しました。その反省すこーく、すこーく  
うれしかったです。  
おまくな、てしまいましたがおねえを  
言かせと下さい。  
足長 おじさん、沢山のチョコレート  
ありがとうごさいました。みんな  
おいしくいただきました。  
おれだにきをつけておれは、こた  
すい。



ちよこれいと、ありがと  
ごさいました



足長 おじさんへ  
チョコレート おいしかったです  
ありがとう ごさいました



# ウクライナ緊急支援にご協力 ありがとうございました。

日本チェルノブイリ連帯基金（JCF） 神谷さだ子

ロシア軍のウクライナへの爆撃は、続いている。停戦に向けた話し合いに合意点が見い出せないまま、世界各国はとんでもない方向に向き始めた。国の為政者の判断に翻弄される人々をなんとか応援しようとウクライナのスロバキア・ハンガリー・ルーマニアに接する西部の街、ウジホロッドのカトリック教会と繋がり、東欧の国々に避難しようとしている子ども達を連れた家族連れに食料・衣服・医薬品支援をしている。教会の関係者は、爆撃音でトラウマを抱えてしまった子ども達の事も心配し、絵を描いてもらったり、リラックスして過ごせるよう気を配ってくださっている。

ポーランドのクラクフでは画家の宮永匡和さんが、JCF 現地スタッフとして協力していただける事になった。避難者に届ける食料の買い出しから、一人で頑張ってスタートしたが、今は、娘さんが通う 85 番小学校の先生と協力しながら、学用品・靴・ボールなどを届けている。自分のサイズに合った靴を持ち笑顔の子ども達の写真が送られてくると、日本にいる私たちがホッとする。5月に



ウクライナからの避難



85番小学校で子どもたちに支援品を渡す

入ってからは、修学旅行や遠足の費用も応援し、子ども達への応援を細やかに続けている。

また、ブルガリアには、JCF 発足以来からお世話になっているモチャロフさんがいる。避難する人たちには、ブルガリアはあくまで通過点でドイツやフランスに移動しようとしていると

の事だが、着のみ着のまま避難生活をおくる人々に衣類や医薬品を渡している。

送金がスムーズにでき、信頼できる仲間によって支援が支えられている現在である。

※前回の『JIM-NET 便り 3 月号』に、姉妹団体の JCF が取り組むウクライナ緊急支援のチラシを同封いたしました。お陰さまで、全国のみなさまから多くのご寄付が JCF に寄せられており、温かなご支援に心から感謝申し上げます。



## いよいよ Coffee for Peace ! の 第 2 弾が 8 月にスタートします。

今回ご紹介する絵柄は 2 種類となりますが、黄色い鳥とお花のデザインは、ともに地中海性貧血を患っていたエハラス（12 歳・黄色い鳥）と姉のサーラ（14 歳・お花）が描いた作品をアレンジしました。

いつもふたり一緒に JIM-NET ハウスでのお絵描きや勉強を楽しんでいた姉妹ですが、2020 年 12 月に姉のサーラが、その半年後にはエハラスも天国へ旅立ちました。エハラスの夢は、お医者さんになって病気の子

## Coffee for Peace!



どもたちを助けることでしたが、サーラを失ってからは気持ちもふさぎ込みがちでした。それでも元気を取り戻し、「お絵描きをしているとサーラと一緒に笑いながら絵を描いていたことを思い出して幸せな気持ちになるの」と話していました。

ふたりの姉妹が天国で一緒に笑顔で過ごしていることを願っています。是非、お手に取ってご覧ください！



（左：妹のエハラス 右：姉のサーラ）

